

中札内村総合行政推進委員会 第4回まちづくり部会 会議録

日 時 平成29年11月21日（火） 19:00～20:30
場 所 改善センター 会議室
出席委員 五十嵐真也、小山 陣、斎藤まり子、本間克伸、渡邊芳恵（5名）
欠席委員 河瀬智憲、桑田尚行、島次孝至、瀬川 亮（4名）
事 務 局 総務課長 阿部雅行、住民課長 坂村 暢一、福祉課長 高島 啓至
総務課長補佐 氏家佑介、総務課事務補 黒澤菜々美

議 事

（開 会） 19:00

（阿部課長） こんにちは。時間となりましたので総合行政推進委員会まちづくり部会を始めます。それでは、部会長からあいさつをお願いいたします。

（五十嵐部会長） みなさまお疲れ様です。お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。本日も活発な意見、よろしくお願いします。また、来週も会議がありますので、参加をお願いします。

それでは早速、第6期後期基本計画（案）について、事務局から説明をお願いいたします。

－高島課長、坂村課長 資料1、2、4に基づいて説明－

（五十嵐部会長） それでは、ただいま事務局から説明のあったことについて、みなさまからご意見等あればよろしくお願いします。

（氏家補佐） くるくる号について補足です。現在、市街地と農村部を走っていますが、農村部については時間がかかりすぎる等の問題があるため、利便性の改善を考えています。改善策については検討中です。

（委 員） くるくる号について、これから除雪の問題が出てくると思います。その場合、コースが変わることもありますか。そうなった場合、事前に周知するのですか。

（阿部課長） 去年は運行中止することがありました。その時は放送で周知しました。また、大幅に遅れる場合については運行中止にしたいと考えています。運行中止の場合は、臨時放送と昼、夜の放送で対応したいと思います。

（氏家補佐） くるくる号は床が低いこともあり、去年は天気予報や大新東と相談し、中止の判断をしました。

(委 員) 地域福祉の環境づくり(5)について、村長公約で健康状況や家族構成など高齢者の基本情報台帳とあるが、台帳には障がい者も含まれているのですか。

(高島課長) 今は高齢者や障がい者が主体です。しかし、これからは1人親や子供が小さい世帯も網羅していかななくてはならないと思います。介護保険や高齢者の情報やその家族の情報なども含めて作成する必要があり、実際に使えるものとするには、本人の了解を得なければならないため、時間がかかると思います。

(氏家補佐) まちづくりアンケートでは、子育てについて、とても満足・やや満足が6割以上、また、高齢者や障がい者についても、対象にならない人も多いが、とても満足・やや満足が5割以上となっています。

(五十嵐部会長) 除雪サービスについて、不足するサービスの特定と新たなサービスの開発とあるが、今年、新たに取り組めそうなことはありますか。

(高島課長) 今のところはありません。次期計画なので、これから考えていきたいと思います。また、社協で実施できなかった事業(生活支援コーディネーター)が村へ返ってきているため、村民を交えた協議体において除雪サービスを含め、何が必要か検討しているところです。直近だと、くるくる号への試乗を実施します。

(委 員) インフルエンザ接種の助成について、対象者は。

(高島課長) 高齢者(65歳以上)、60歳以上の身障者、乳幼児～中学3年生までだったものを、平成29年度より高校3年生まで拡大して行っています。

(阿部課長) 個人負担1,000円で、年齢を拡大した形です。

(氏家補佐) アンケートでも、医療体制についての満足度が低く、力を入れてほしいといった割合も多くありました。また、個別での意見も多く、近隣との比較の意見もありました。

(委 員) アンケートで、診療所は不満等が多いと思います。また、後継者を探しているといっていました。村独自でも探しているのですか。なぜ難しいのですか。

(坂村課長) 現在の先生に診療所の運営と委託を行っていただいています。そのため、先生を変えとなると委託先を変えることになります。今の先生と共通の認識のもと、どうしたらいいか話し合いを行っている状況です。

(五十嵐部会長) アンケートで近隣との比較が多いといっていました。公園や医療など、中札

内にないものを求めている気がします。

(委員) 更別村では、家庭医療を行っていて、若い先生が来ていると聞きました。田舎でありながら新しい医療を受けられ、重傷などであれば大きい病院とすぐに連携できるので、使い勝手がいいと思います。中札内の方が人口が多いし、将来的にはそうなってほしいと思います。

(氏家補佐) 建物や設備等は後任の先生の意向もあると思うので、今すぐには難しいところもあると思います。

(五十嵐部会長) 先日、保健師さんから七色献立についての説明を聞く機会がありました。1日にあんなに野菜を摂取するのは正直難しいと思いました。しかし、肥満や糖尿病の割合が高いということで気を付けなければならないと思いました。また、1人ではできない部分もあり、せっかくなので団体と連携してもう少し大きな事業にすると、村民の健康につながると思います。

(高島課長) 3年の事業として行っていますが、進めている中で新たに認識することの他、農家、農協青年部、若妻会等、協力してくれている団体と意思疎通を図れているので、3年間の年限を超えても多額な事業費をかけずに継続できればと思っています。また、先日はタニタの事業を先行実施している東神楽へ視察に行ってきました。良い所を反映させていきたいです。

(委員) 名称が食育サポーターに変わったことで内容も変わったのですか。

(高島課長) 目に見えている部分で変わったところはありません。保育園で子供と苗植え、生育観察、収穫、調理など一連の食育活動を主体で行っています。名称変更とともに組織は昔ながらの村主体ではなく、自主的に行ってもらえるよう進めています。今年度はサポーター主体のレシピ集を作成しています。

(委員) 本州の方の大学生が十勝へ来て、野菜を作って売っているとテレビでやっていました。中札内にも来てくれたらいいなと思いました。

(阿部課長) 村は条件が良く、外からの人が入ってくるスペースがないので、難しいかと思いますが、賄いきれなくなったらスペースが空く可能性もあるかと思います。

(五十嵐部会長) 妊婦の通院助成とありますが、他市町村も行っているのですか。

(高島課長) 北海道が作った事業で、道からの補助がでています。割合的には北海道が3分の1、市町村が3分の1、個人負担が3分の1です。しかし、子育て支援の観点から村では個人負担をなくし、北海道が3分の1、村が3分の2で行っています。

管内では3町村程度が同じ形で行っている状況です。

(委 員) 有害鳥獣について、牧柵がついていない所からシカが入ってくることが多く、若い芽を好むので作物が成長しなく困ることがあります。

(坂村課長) 猟友会の年齢層が高く、農家の若い人に入っていただきたいと思っています。

(委 員) 誤射が怖くあまり入っていないのかなと思います。地区ごとに懇談会等を開くと、若い人も来てくれるのでいいかもしれません。

(阿部課長) 昨年の台風の影響で、シカの住家である河畔林がなくなり、伐採も多かったと思いますが、シカの頭数に変化はありましたか。

(委 員) あまり変わらないと思います。しかし、牧柵がなかった時代に比べると少ないです。最近のアライグマが増え、何件か被害があると聞きます。

(坂村課長) 畜大が村でアライグマの調査を行っていますが、まだ捕獲の実績はありません。

(五十嵐部会長) 最後に全体を通してご意見等ありますでしょうか。なければこれで、第4回まちづくり部会を終了いたします。みなさま長い時間お疲れ様でした。

(閉 会) 20:30